

ネイティブスピーカーを囲んで英語でチャット 英語交流会が開かれました

佐藤洋子(広報青年部会)

11月26日、京成津田沼駅そばサンロード5階にて、外国人支援部会主催の「英語交流会」が開かれました。これは、毎週行われているALT（外国語指導助手）を囲んでチャット（おしゃべり）を楽しむ「マンデーチャット」のいわば拡大版。年に数回、土曜日の午後2時から4時まで2時間行なわれます。

今回は、ALT2名と姉妹都市タスカルーサ出身の男性1名、計3名のネイティブスピーカーがスピーキングの講師として来て下さいました。日本人参加者は17名。大人だけでなく、中学2年生が6名、高校1年生が1名。そしてなんとママに連れられて7歳の子も参加しました。参加者は3人の講師の各テーブルに分かれ、それぞれチャットを楽しみました。1時間経ったところで席替えをするので、複数のネイティブスピーカーやいろいろな参加者と話すことができます。

中学生たちは、初めは少しおとなしかったのですが、「クラブは何ですか？」「趣味は何ですか？」「好きな映画は？」等々、講師の熱心な問いかけに励まされて、次第に口が開くように。そして「好きな食べ物は何ですか？」等、自分からも積極的に質問したりするようになりました。「最初は恥ずかしかったけど、すごく楽しかったです！」「ネイティブの生英語に触れられて、発音とか、とても勉強になりました」と、中学生たち。高校生も、「こういう機会は初めて。いい経験になりました。またぜひ来たいです！」と、声をはずませます。大人たちも、「TPPは是か非か？」から「最近見て良かった映画は？」まで、硬軟さまざま話題を活発に話しました。

子どもも大人も「英語でチャット」を大いに楽しんだようです。



講師を中心にテーブルを囲んで



終了後、顔ぶれはさまざま